

景気 DI が初の 50 台に到達、個人消費の改善がアベノミクスの成功を図る試金石

総務省は1月31日、2013年12月の全国消費者物価指数を発表した。全体では前年同月比+1.6%となり、7カ月連続で物価は上昇した。また、インフレ率の基準指標である生鮮食品を除いた場合では同+1.3%の上昇で、11月(同+1.2%)より上昇幅が0.1ポイント拡大した。特に、品目別にみえていくと、電気代(同+8.2%)、ガソリン(同+7.1%)、傷害保険料(同+10.1%)、外国パック旅行(同10.3%)などが物価の上昇に寄与していた。

また、同日に公表された統計をみると(2013年12月分)、労働力調査では就業者数が6,319万人と1年前より91万人増加し(12カ月連続増加)、完全失業率は3.7%と前月より0.3ポイント低下した。さらに、家計調査では、勤労者世帯の実収入(名目)が前年同月比+0.3%増となり、10カ月連続で増加している。過去1年ほどの間、所得・雇用環境は改善が続いているといえ、消費を下支えする要因となっている。

TDB 景気動向調査(帝国データバンク)の1月調査結果では景気 DI が 50.0 となり、2002年5月の調査開始以来初めて50台に達した。これまでは震災復興や公共事業の投入(第一の矢)の効果もあり、景気は『建設』関連を中心に上昇してきていた。しかし、1月の景気は『小売』や『サービス』『不動産』の改善が大きく、消費関連業界が全体をけん引する役割を果たしたことがうかがえる。

2012年12月に発足した安倍政権の経済政策(アベノミクス)は、徐々に個人消費へと向かい始めたといえるのではないだろうか。4月の消費税率引上げを控えて、景気の落ち込みを最小限に抑えるためには、個人消費の落ち込みをいかに小さくするかにかかっているといえよう。そのためにも、個人所得が上向き、多くの人が賃金の上昇を実感し、暮らし向きが改善してこそ、アベノミクスは成功したといえるのではないだろうか。そして、その先にデフレ脱却が待っているのである。したがって、アベノミクスの正否は賃金上昇にかかっている。

(撞球者)

「いま始める事業承継」第7回

第7回 事業承継を成功させるためのコツ④

「事業承継を成功させるコツ」として、今回は社外の相談相手についてお話しします。

今回、さまざまな企業や支援機関の方々取材をさせていただくなかで、「事業承継はひとりではうまくいかない、相談できる人が必要だ」という声が多数挙がりました。

では、中小企業経営者のみなさまが、社外で身近な相談相手として思い浮かぶのはどなたでしょうか？

おそらく、税理士や会計士という方が多いのではないのでしょうか？

事業承継に関していえば、税理士の方に

「第三者の視点から適時アドバイスをしてもらった」という声がある一方で、「事業承継の専門家ではないため、相談、解決できないこともある」といった声もありました。

税理士の方でも対応が難しいのは、事業承継が税金対策に限らず法律・事業・人材など経営のさまざまな部分にまで及ぶからでしょう。

実際に、帝国データバンクが実施した事業承継に関する企業の意識調査（2013年7月）でも、事業承継で苦労したこととして、「後継者育成」「事業の将来性」「資産・税金の取扱い」「事業承継の知識習得」など、非常に多岐に渡っています。

<http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p130702.pdf>

「承継の仕方はさまざま。100社あれば100通りの仕方がある」といいます。だからこそ、信頼できる相談相手を見つけることがまず大事になってきます。

帝国データバンクでも事業承継に関連した各種サポートをご用意し、経営者のみなさまのお話を伺いながら、円滑な承継のお手伝いをしております。事業承継について、ちょっとしたお悩みや不安がある方はお気軽にご相談下さい。

TDB**主観・客観** TDB 景気動向調査 (URL: <http://tdb-di.com/>)

今回は「事業承継を成功させるためのコツ（まとめ）」をお届けします。

今コラムの詳細は TDB REPORT122 号をご覧ください。

～企業事例が豊富につまった事業承継のテキストです～

<http://www.tdb.co.jp/lineup/publish/tdbrep122.html>

TDB REPORT 編集制作チーム（問い合わせ先：03-5775-3163）

当コラムの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。